



7月1日現在の中山	
世帯数	1,354
人口	3,254
【問い合わせ】 中山公民館報編集委員会 58-5822	

# コロナ禍の 中山児童センターと 中山文庫

コロナ禍の下、「新しい生活様式」の実践が求められる中、中山児童センター横山館長、中山文庫中村館長それぞれにお話を伺いました。

※ ※

「中山児童センターでは、3月2日から、通常12時半開館が、長期休みと同様の8時から19時までの開館となりました。6月からは、全校登校になりましたが、短縮授業は続いていましたので、8時開館は継続していました。」

新1年生は、小学校には入学式に登校しただけで、子どもにとっては訳もわからずセンターへ通うようになったため、保護者も子どもたちも不安を感じていました。

保護者の方々は、3密回避を自主的に考えてくださり、

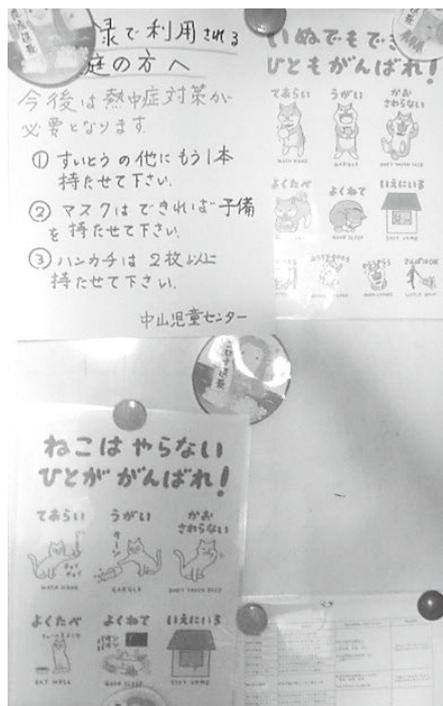
## 中山文庫

家族で協力し合い自宅でも子どもと過ごすご家庭もあつたため、通常30名受け入れのところが、15名に抑えられています。

職員は、感染リスクを避けるため、通院などの必要な外出も自粛し、子どもたちの安全を最優先に考えています。



センターに通う子どもたちの様子



センター利用者への注意喚起

人手不足の中、5月後半に給食センターからお手伝いに来ていただき、とても助かりました。  
おやつの時お茶を出せない、子どもたちを抱き寄せられない現状に、寂しさを感じています。

ます。」

「中山文庫では、3月4日から5月15日まで、市立図書館全館が休館となりました。」

休館中は、利用者からの予約本の受付は行い、午前と午後各1時間ずつ引き渡しの時間を設けて対応していました。また、貸出冊数と返却期日の制限を緩和していました。

開館日の5月16日(土)には、休日の来館者が通常80名のところ、130名の方が訪れました。皆さん開館を心待ちにしていたようです。

感染リスク回避の対応として、マスクの着用、消毒液の設置、カウンターへのビニールカーテンの設置、換気、返却本の消毒などを行っています。

図書館行事の『おはなしの会』などの再開の見通しが立ちましたら、お知らせしますので、ぜひご参加ください。」  
両施設ともに利用者の立場で工夫をされていました。



貸出カウンター



中山文庫利用者の様子



のどかな山中にレトロなバスが中山文庫のシンボルです

# 名所探訪

自然科学研究家の仙石鐵也さんの自宅(中山埴原東)は、本棟造りの古民家で、北側に広さ約300坪の坪庭があります。

昔、庄屋だったこともあり、日本庭園に多い「心」の字型に作られ、中心部には「築山(つきやま)」が配置されています。泉水は裏山からの湧水で通年、枯れることはありません。庭にはコケ、飛び石などが配置されています。

ダンツツジの鮮やかな色は高い空の青と相まって心に染みます。「最近では庭の手入れが行き届かず、景観を損ねているが、興味のある方はどうぞ見に来てください。北アルプスの遠望も、いいですよ」と笑顔で話す仙石さんです。



樹木として、コウヤマキ(世界三大庭園樹)、カシワ、イチイ、サルスベリ、カエデ類他があり、草本として、ミズバショウ、フクジュソウ、クリンソウ、エンコウソウ、ゴウホネ、ニホンサクラソウ他、多種多様な植物を見ることができま



す。故に季節を通して見所があり、春先の芽吹き、夏の涼風、秋の紅葉、特にモミジ、ドウ

## 中山の店

### ももせ薬局

2002年開局。代表の百瀬佳代子さんのほか、薬剤師さん3名、事務局1名、計5名の方が働いている職場で、中山はじめ、神田地区の住民の利用者がほとんどです。

「この地域は高齢化が進行して、一人暮らしの人も多いです。わたしは街の中でもこの仕事をしていました。比較してしまうのですが、この地区の人たちはお互い助け合っていると感

じます。その人たちの暮らしの助けになればいいと思いながら、アットホームな雰囲気の中で仕事をしています」とこやかに話してくれました。



### 中山通商有限会社

創業(小笠原商店から数えて)55年目を迎えました。創業者・小笠原幸貴氏は林業と農協にも携わっていたそうですが、中山にはガソリンスタンドがないから不便、そんな思いから起業したと息子で社長の新一さんは言います。

中山の活力の大きな支えになっていますね、と問うと「きびしいですよ、電気エネルギーが主役になってきていてね。いつまで続けられるか不安がつきまといます。でも、中山から店がなくなると寂しいじゃないですか。

夏の暑さも、冬の寒さもこたえるけど、お客さんから喜んでもらえる嬉しいから続けます」とはじけるような笑顔で話してくれました。



(T・h 宅のツバメの巣)

毎年この季節になると、わが家に数羽のツバメが飛来する。「今年も忘れずに遠い南の国から帰ってきてくれてありがとう」と言いたい。いつも玄関先に営巣するため古い巣は壊して片付けようとしたが、来年帰って来たときにねぐらがなくなってしまうと思い、そのままにしてある。巣が完成し、卵が孵化すると、大きな口を開けて親鳥から餌をもらう雛の姿に癒される。無事に巣立つことを願いながら温かく見守っている。(T・h)

